

# 12月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和6年12月末現在〕

令和7年1月14日  
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」、「売上高」、「収益状況」のいずれも前年同月比、前月比ともに悪化した。

業種別でみると、「景況」は製造業では、前年同月比、前月比ともに悪化した。非製造業では前年同月比は悪化、前月比は変化なしであった。「売上高」は、製造業では前年同月比、前月比ともに悪化した。非製造業では、前年同月比では改善したが、前月比は悪化した。「収益状況」は、製造業、非製造業ともに前年同月比及び前月比が悪化した。

前月に引き続き、エネルギーや原材料等の価格高騰に対応するべく価格転嫁を進めているが、十分な価格転嫁ができず、収益確保が厳しいという報告があった。

## 景況DI

製造業は、前月比8.3ポイント悪化の▲33.3ポイント、非製造業は、前月比変化なしの▲30.4ポイント、全体では、前月比4.2ポイント悪化の▲31.9ポイントとなった。

## 売上高DI

製造業は、前月比45.8ポイント悪化の▲50.0ポイント、非製造業は、前月比26.1ポイント悪化の4.3ポイント、全体では、前月比36.2ポイント悪化の▲23.4ポイントとなった。

## 収益状況DI

製造業は、前月比12.5ポイント悪化の▲41.7ポイント、非製造業は、前月比8.7ポイント悪化の▲30.4ポイント、全体では、前月比10.7ポイント悪化の▲36.2ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会

令和6年12月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品	学校給食パン	原材料等の値上げが続いている。令和7年1月から原材料等4品目（砂糖、イースト、小麦粉、包装材）が平均25%ほど値上げとなる予定。
		清酒	○県内全域の課税移出数量・業界全体の現状 当県11月の清酒課税移出数量は、対前年同月比103.3%、本格焼酎については、同89.9%であった。9月から連続して日本酒の課税移出数量が対前年同月比でプラスとなっている。  ○県内当業界について 12月5日に日本の伝統的の酒造りがユネスコ無形文化遺産に認定された。酒造業界としては、世界の人々に日本酒を知ってもらい、国内においても再認識してもらえらるものと期待している。 反面、現在も米価の高騰が続き、令和5年は60kg13,000円だったコシヒカリが33,000円で取引されている。原料米の値上がりに対し、酒蔵では収益の確保に苦慮している状況である。酒造好適米も令和6年には60kg2,000円程度値上がりした。主食米の高騰に付随する形で令和7年産の酒造好適米の価格は大幅に引き上がりと思われる。この状況が続けば、赤字経営を余儀なくされ、廃業していく蔵元が続出すると予想される。
		納豆	包材及び人件費の上昇に伴い、今春に販売価格の値上げを検討している組合員企業がある。また、資金繰りが悪化したり、人手不足に陥っている組合員企業もある。
		菓子	消費者はSNSなどにより商品を知る機会が増え、購入にあたっての選択肢が広がる中で従来のままの菓子では選ばれにくくなってきている。そのため、情報発信の方法を工夫することや消費者から求められる商品を開発する必要がある。
		漬物	12月は年末商戦の影響もあり売上が好調だったが、野菜の価格高騰分を十分に価格に転嫁できず収益が圧迫され、今後の経営状況が厳しくなることを懸念している。 原料の野菜を生産する組合員企業では、天候不順によって生産量が減少し、取引先メーカー分の生産量しか確保できていない。
		繊維工業	外衣シャツ
			製材

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会

令和6年12月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
木材・木材製品	県北地区プレカット	月間加工坪数は目標の90%達成した。 令和7年1月の加工予定は17棟で中旬から下旬に集中している。 木材価格は横ばいで推移している。	
紙・紙加工品	段ボール	12月に入り生産量が前年並みまで回復してきているが、コロナ前の水準から比べると10%以上落ちた状態で推移している。 諸物価や人件費の高騰が影響して収益が悪化し厳しい状況が続いている。	
印刷	総合印刷	前年同月と比べ業況に大きな変化はない。 資材の値上げに対して各社とも十分な価格転嫁ができていないことから、収益と資金繰りが悪化し厳しい状況が続いている。	
窯業・土石製品	陶磁器	令和6年はイベント等の来客者数が増加したことで販売店への来客者も増え、販売量も増加した。	
製 造 業	鉄鋼・金属	12月は前年同月と比べ受注量・売上高が10%程度減少した。自動車関連部品、建築資材関連部品、一般機械部品等の受注が減少している。 金属材料の価格や電気代、ガソリンを含む石油関連の価格が高止まりし、生産コストの上昇分を十分に価格転嫁出来ていないことから、収益が悪化している。	
	一般機器	生産用機械	主要取引先からの受注減少が続いていることが主要因となり7組合員の売上高は対前年同月比で2社増加、5社減少の全体増減率89%と10ヶ月連続で減少となったが、前月比では増加している。 また団地全体の従業員の中で派遣社員が対前年同月比で減少している。
	輸送用機器	県北地区自動車部品	組合員全体の生産量が増加し売上高も増加しているが、取引先からの自動車部品単価の減額要請によって商品単価が下落し、生産コストも上昇していることから収益はやや悪化している。

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会  
令和6年12月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	生鮮魚介	商品単価が上昇した影響で12月前半は荷動きが伸びなかったが、年末需要で12月後半には荷動きが若干回復したものの取扱数量は対前年同月比で減少している。取扱高は商品単価の上昇により対前年同月比で3.04%増加した。 また、令和6年全体を通してみると、前年と対比して取扱高は若干上昇し、取扱数量は減少している。
	袋セメント	袋セメントの12月度出荷数量は29千袋、対前年同月比111.92%の実績となった。前年同月に袋セメントの値上げに伴う購入控えがあったことから、前年を上回る実績となったが、令和6年の全体を通してみると出荷数量は低下している。要因としては現場職人等の不足や働き方改革による工期の長期化に伴う月間また年間での袋セメント需要の減少、低価格のノンブランド品への顧客流出等が影響しているものと思われる。
非 製 小売業	鹿行地区共同店舗	組合全体の売上高は対前年同月比97.65%、前年度よりも売上高が増加した店舗は全体の2割であった。また、来店客数は同98.27%であった。
	燃料	12月19日より燃料油激変緩和策による補助率が縮小された。これにより全国のレギュラーガソリンの平均価格は180円を超え、茨城県（12月23日時点）の平均価格は前週（12月16日時点）から5.1円上昇し176.6円となった。 今回の値上げに関して、県外では値上げの数日前から給油客が列をなす等の消費者行動が見られたものの、県内では際立った混乱はなかった。これについては値上げが5円程度であったことと、メディア等での報道やSS店頭で12月19日よりガソリン等の価格が5円程度上昇することをポスターやステッカーを用いて早めに周知したことで、給油客の集中が避けられたことが要因と思われる。 燃料油激変緩和策は令和7年1月16日から更に補助率が縮小されることとなっている。一方で令和7年度税制改正大綱に暫定税率撤廃の方針が明記されたことから、今後の燃料油価格の先行きは不透明な状況である。
	二輪自動車	販売価格は上昇しつつあるが、寒さでバイクに乗る機会が減少する冬季に入ったことで、販売数量・売上高が減少した。 従業員の高齢化による退職のため、雇用人員は減少している。

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会

令和6年12月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
造 業		中古自動車	12月は、販売価格が対前年同月比で101.5%と若干上昇したが、販売台数が同77.0%と2割強の落ち込みとなったため、売上高は同78.1%と大きく減少した。 9月から前年度を上回る順調な売上高であったが、12月は回復基調にストップがかかった。要因としては、中古車の仕入れ価格上昇に伴う販売価格の上昇に加え、燃料油価格激変緩和策の縮小によるガソリン価格の値上げや年明けから予定されている食品類の値上げ等による消費者の購買意欲の低下が考えられるが、一時的な落ち込みか否かは今後を注視していく必要がある。
		野菜・果実	12月は野菜果実合計で対前年同月比114.7%の取扱高となった。過去5年間の平均取扱高と比較すると113.6%となった。 野菜に関しては、11月から引き続き多くの品目で品薄単価高となった。比較的入荷量が安定している品目に関しても、全体の単価高に引上げられ引き合いが強まり、単価が上昇した。 果実に関しても11月から引き続き、リンゴ、ミカン等の入荷は少なく組合員からは「市場にない」「あっても平年の倍近い値段」「贈答用にと頼まれていた商品が用意できず客から怒られた」などの報告があった。
	商店街	ひたちなか	飲食店では21時以降の来客数が少なく、閉店時間を早める店が見受けられる。
		水戸	商店街の中の飲食店では原材料費、小売店等では商品の仕入れ価格の高騰が続き、買い控えを懸念して十分な価格転嫁を行えていないことから収益が圧迫され、業況は改善していない。
		筑西	飲食店では米等の原材料費の高騰が続き、メニューの売上高が減少することを懸念して十分な価格転嫁を行えていないことから収益が悪化している。
		自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数（持込検査）の対前年同月比は、普通車（101.3%）・軽自動車（96.8%）とほぼ横ばいとなったが、取引が多い軽自動車が減少傾向となっている。

報告者名

茨城県中小企業団体中央会

報告年月

令和6年12月

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非 製 造 業	サービス業	
	旅館, ホテル	県央地区では毎週末サッカー (U-21・大学・少年) 関係による宿泊があり、収益貢献に繋がった。光熱費や仕入れ食材の価格高騰の影響で収益が圧迫されている。宿泊施設によりまちまちであるが、インバウンドの宿泊は全体の2%程度である。県北地区の袋田の滝ライトアップ「太子来人」は毎年1月末まで行っているが、PR不足のため宿泊客でも知らない人が多く、残念に思う。いばらき若旦那のランチショーやディナーショーによって満員御礼の宿泊施設もあり、茨城県をPRするという役割を果たすことができた。
	建設業	鹿行地区共同店舗
		時間外労働の削減に取り組む必要があり、デジタル化を活用した効率化が求められている。また、労働環境を改善し人手不足を解消するため、週休2日制工事の受注・実施が求められている。
運輸業	軽貨物自動車	令和6年12月度の組合員数は98名、車輛台数は127台であった。また、運送売上高は対前年同月比109.5%であった。
	一般貨物自動車	主要顧客の発送物量は低調であるが、運転手の不足により対応できない輸送業務が発生している。燃料価格は12月からの燃料油価格激変緩和策の縮小によって更に上昇し、収益は一層厳しい状況となっている。

## 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	学校給食におけるパン給食の回数増
	清酒	米価の高騰により苦しんでいる業者への補助金の検討をお願いしたい。

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会  
令和6年12月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
小売業	燃料	揮発油に課税している二重課税の廃止 燃料油価格激変緩和策の継続、補助金の今後の見通しの周知徹底（激変緩和策、暫定税率撤廃等） 物価上昇、円安への対策
サービス業	旅館・ホテル	光熱費等の補助を再開してもらいたい。
建設業	鹿行地区建設	公共工事の発注件数の増加

月次景況調査 12月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	12月	11月	前月比	12月	11月	前月比	12月	11月	前月比
景 況	▲ 31.9	▲ 27.7	▲ 4.2	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 8.3	▲ 30.4	▲ 30.4	0.0
売 上 高	▲ 23.4	12.8	▲ 36.2	▲ 50.0	▲ 4.2	▲ 45.8	4.3	30.4	▲ 26.1
収 益 状 況	▲ 36.2	▲ 25.5	▲ 10.7	▲ 41.7	▲ 29.2	▲ 12.5	▲ 30.4	▲ 21.7	▲ 8.7
販 売 価 格	25.5	25.5	0.0	4.2	0.0	4.2	47.8	52.2	▲ 4.4
取 引 条 件	▲ 17.0	▲ 14.9	▲ 2.1	▲ 20.8	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 13.0	▲ 17.4	4.4

## 中小企業月次景況調査(令和6年12月)DI値(前年同月比)

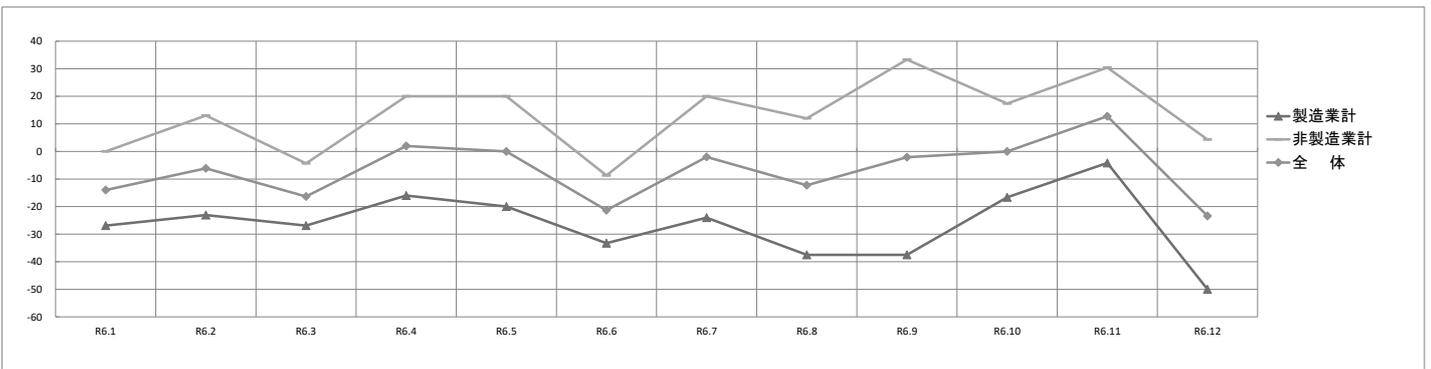
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)																
		増加	不変	減少		業界数	増加	不変		減少	業界数	上昇		不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化		業界数	好転	不変		悪化	業界数	上昇		不変	悪化	業界数	増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数						
製造業	食料品	△ 42.9	0	4	3	7	14.3	1	6	0	7	42.9	3	4	0	7	△ 14.3	0	6	1	7	△ 42.9	0	4	3	7	△ 42.9	0	4	3	7	△ 14.3	0	6	1	7	△ 28.6	0	5	2	7	△ 28.6	0	5	2	7
	繊維工業	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
	木材・木製品	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	電気機器	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	輸送機器	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3
	製造業計	△ 50.0	0	12	12	24	△ 12.5	1	19	4	24	4.2	4	17	3	24	△ 20.8	0	19	5	24	△ 41.7	0	14	10	24	△ 29.2	0	17	7	24	△ 25.0	0	18	6	24	△ 37.5	0	15	9	24	△ 33.3	0	16	8	24
非製造業	卸売業	0.0	1	1	1	3	0.0	0	3	0	3	66.7	2	1	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3					0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	
	小売業 (商店街含む)	9.1	4	4	3	11	△ 18.2	1	7	3	11	54.5	6	5	0	11	△ 18.2	0	9	2	11	△ 27.3	0	8	3	11	△ 9.1	2	6	3	11					△ 18.2	0	9	2	11	△ 27.3	0	8	3	11	
	サービス業	△ 50.0	0	1	1	2					50.0	1	1	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2					△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2		
	建設業	0.0	1	3	1	5					20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5					0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5		
	運輸業	50.0	1	1	0	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2					△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2		
	非製造業計	4.3	7	10	6	23	△ 14.3	1	10	3	14	47.8	11	12	0	23	△ 13.0	0	20	3	23	△ 30.4	0	16	7	23	△ 13.0	2	16	5	23					△ 17.4	0	19	4	23	△ 30.4	0	16	7	23	
全体	△ 23.4	7	22	18	47	△ 13.2	2	29	7	38	25.5	15	29	3	47	△ 17.0	0	39	8	47	△ 36.2	0	30	17	47	△ 21.3	2	33	12	47	△ 25.0	0	18	6	24	△ 27.7	0	34	13	47	△ 31.9	0	32	15	47	

## D I 値推移表 (R6.1月 ~ R6.12月期)

### 《売上高の推移》

前年同月比	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 33.3	16.7	▲ 42.9	▲ 14.3	▲ 42.9	▲ 57.1	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 28.6	14.3	▲ 42.9
製造業(食料品製造業以外)	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 5.6	▲ 22.2	▲ 71.4	▲ 11.1	▲ 41.2	▲ 35.3	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 52.9
製造業計	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 24.0	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 50.0
卸売業	33.3	100.0	66.7	100.0	0.0	▲ 66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 25.0	▲ 18.2	▲ 18.2	15.4	46.2	18.2	30.8	7.7	50.0	27.3	54.5	9.1
サービス業	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0
建設業	40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	▲ 50.0	100.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	50.0
非製造業計	0.0	13.0	▲ 4.3	20.0	20.0	▲ 8.7	20.0	12.0	33.3	17.4	30.4	4.3
全体	▲ 14.0	▲ 6.1	▲ 16.3	2.0	0.0	▲ 21.3	▲ 2.0	▲ 12.2	▲ 2.1	0.0	12.8	▲ 23.4

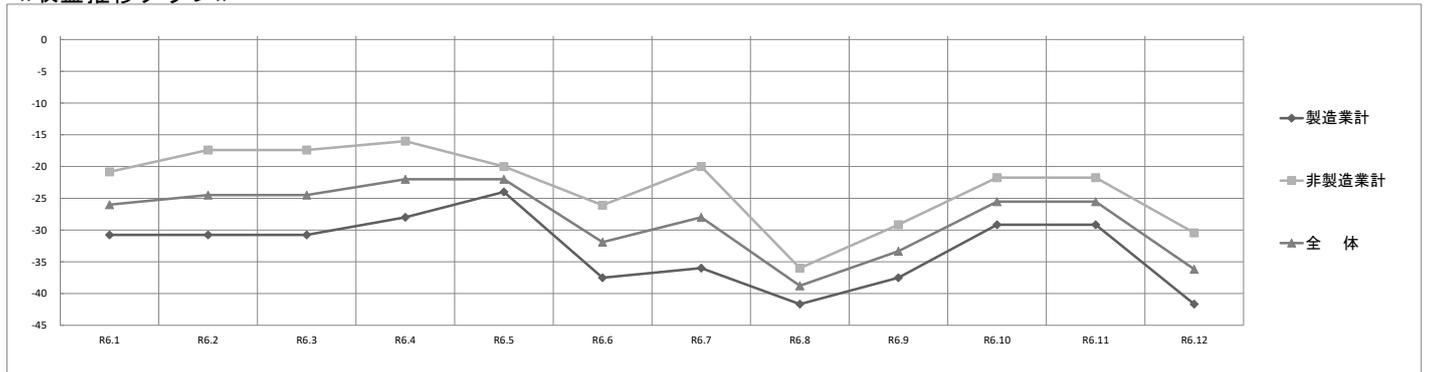
### 《売上高推移グラフ》



### 《収益の推移》

前年同月比	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12
食料品製造業	0.0	0.0	16.7	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 14.3	▲ 42.9
製造業(食料品製造業以外)	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 45.0	▲ 27.8	▲ 22.2	▲ 35.2	▲ 33.3	▲ 41.2	▲ 41.2	▲ 29.4	▲ 35.3	▲ 41.2
製造業計	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 28.0	▲ 24.0	▲ 37.5	▲ 36.0	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 41.7
卸売業	▲ 33.3	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 25.0	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 18.2	▲ 23.1	▲ 46.2	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3
サービス業	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0
建設業	0.0	20.0	20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 20.8	▲ 17.4	▲ 17.4	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 26.1	▲ 20.0	▲ 36.0	▲ 29.2	▲ 21.7	▲ 21.7	▲ 30.4
全体	▲ 26.0	▲ 24.5	▲ 24.5	▲ 22.0	▲ 22.0	▲ 31.9	▲ 28.0	▲ 38.8	▲ 33.3	▲ 25.5	▲ 25.5	▲ 36.2

### 《収益推移グラフ》

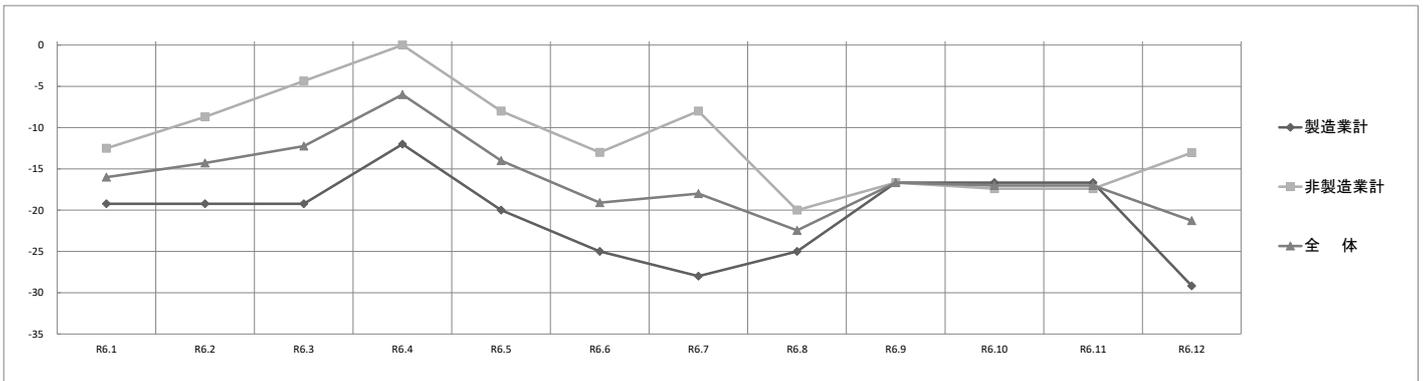


## D I 値推移表 (R6.1月 ~ R6.12月期)

### 《資金繰りの推移》

前年同月比	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 57.1	▲ 57.1	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 42.9
製造業(食料品製造業以外)	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 17.6	▲ 16.7	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 5.9	▲ 11.8	▲ 23.5
製造業計	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 12.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 29.2
卸売業	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 25.0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 9.1	▲ 7.7	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 9.1
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 4.3	0.0	▲ 8.0	▲ 13.0	▲ 8.0	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 17.4	▲ 17.4	▲ 13.0
全体	▲ 16.0	▲ 14.3	▲ 12.2	▲ 6.0	▲ 14.0	▲ 19.1	▲ 18.0	▲ 22.4	▲ 16.7	▲ 17.0	▲ 17.0	▲ 21.3

### 《資金繰り推移グラフ》



### 《景況の推移》

前年同月比	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	▲ 14.3	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6
製造業(食料品製造業以外)	▲ 15.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 22.2	▲ 27.8	▲ 47.0	▲ 33.3	▲ 29.4	▲ 29.4	▲ 17.6	▲ 23.5	▲ 35.3
製造業計	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 20.0	▲ 28.0	▲ 45.8	▲ 36.0	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 25.0	▲ 33.3
卸売業	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 8.3	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 30.8	▲ 23.1	▲ 36.4	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 25.0	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 27.3
サービス業	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0
建設業	20.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0
非製造業計	▲ 8.3	▲ 21.7	▲ 34.8	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 30.4	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 21.7	▲ 30.4	▲ 30.4
全体	▲ 12.0	▲ 26.5	▲ 32.7	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 38.3	▲ 32.0	▲ 28.6	▲ 27.1	▲ 21.3	▲ 27.7	▲ 31.9

### 《景況推移グラフ》

